サポート情報記事

# Vitextra Web パーツに「無料試用版のご利用ありがとうございます」と表示されるのはなぜですか? ライセンス メッセージと対処方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

# 免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

## 免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

## 誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

## フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

## 「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

## お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

# 目次


概要 4

確認の仕組み 4

手順 **1.** バージョン情報グループを確認する 4

手順 **2. Vitextra** アカウントと比較する 5

原因 **1.** 試用期間が終了し、ライセンスが購入されていない 5

原因 **2.** ライセンスは購入されたが、割り当てられていない 5

原因 **3.** ライセンスが別のテナントに割り当てられている 6

原因 **4.** ライセンスが別の製品のものである 6

原因 **5.** サブスクリプションがキャンセルされた、または更新できなかった 7

原因 **6.** ライセンスを割り当てたばかりである 7

原因 **7.** バージョン情報グループが空だが、**Web** パーツは動作している 8

原因 **8.** 一部のユーザーまたはページでのみメッセージが表示される 8

それでも解決しない場合 9

用語 10

# 概要

テナントの有効なライセンスを確認できない Vitextra Web パーツは、コンテンツの代わりに赤いメッセージ バーを表示します。

Markdig.Syntax.QuoteBlock

試用期間が単に終了した場合、このメッセージは正しいものです。しかし、ライセンスを*購入済み*の状況でも表示されることがあります。最も多いのは、Web パーツが実行されているテナントにライセンスが割り当てられていない場合です。この記事では、原因を多い順に挙げ、それぞれについて確認方法と対処方法を示します。製品をインストールした管理者、または Vitextra アカウントを管理している管理者を対象としています。

# 確認の仕組み

Web パーツは読み込み時に、**Microsoft 365** テナントのテナント ID と製品の識別子を Vitextra ライセンス サービスに送信し、ライセンス状態を受け取ります。状態は**試用版**、**アクティブ**、**期限切れ**、**保留中**のいずれかで、製品のバージョンとテナント ID とともに、プロパティ ウィンドウの**バージョン情報**グループに表示されます。Web パーツがコンテンツをブロックするのは、状態が**期限切れ**の場合だけです。これを踏まえると、以下のすべてのケースは 2 つの質問に帰着します。*Web パーツはどの状態を受け取っているのか、そしてどのテナントについてか、です。*

# 手順 1. バージョン情報グループを確認する

1 ページを編集モードで開き、Web パーツのプロパティ ウィンドウ (鉛筆アイコン) を開きます。
2 **バージョン情報**グループまでスクロールし、**バージョン**、**状態**、**テナント**の 3 つの値を控えます。




*バージョン情報] グループ*

**Microsoft Teams** では、タブの設定を開くか、個人用アプリを構成モードで開く

と、同じプロパティ ウィンドウにアクセスできます。

## 手順 2. Vitextra アカウントと比較する

vitextra.com にサインインし、**Account → My Subscriptions** (アカウント → マイ サブスクリプション) を開きます。該当する製品について、次の点を確認します。

- サブスクリプションが存在し、その状態がアクティブであること。
- ライセンスが**割り当て済み**であり、割り当てのテナント ID が、Web パーツの**テナント**フィールドに表示されている GUID と完全に一致すること。




*サブスクリプションのライセンス割り当て*

2 つの手順の結果から、以下のいずれかの原因が特定できます。

## 原因 1. 試用期間が終了し、ライセンスが購入されていない

**確認。** **状態**が*期限切れ*で、アカウントにその製品のサブスクリプションがありません。

**対処。** KB10206. Vitextra のライセンスとアカウント: ライセンスの購入と有効化の説明に従って製品を購入し、ライセンスをテナントに割り当てます。再インストールは必要ありません。

## 原因 2. ライセンスは購入されたが、割り当てられていない

**確認。** サブスクリプションは存在しアクティブですが、**Assign License** (ライセン

スの割り当て) セクションにテナントが表示されていません。

サブスクリプションの購入と有効化は別の手順です。ライセンスはテナント ID に紐づける必要があり、そうしないとライセンス サービスはお客様のテナントと購入を結びつけることができません。

**対処。** サブスクリプションのページで **Assign License** に移動し、テナントの名前と、**バージョン情報**グループの**テナント ID** を入力して、**Submit** (送信) をクリックします。数分後に、Web パーツのあるページを再読み込みします。

## 原因 3. ライセンスが別のテナントに割り当てられている

**確認。** ライセンスは割り当てられていますが、割り当てのテナント ID が Web パーツの**テナント**フィールドと異なります。

典型的な理由: ライセンスが開発用またはテスト用のテナントに割り当てられているのに、Web パーツは本番環境で実行されている (またはその逆)。合併後に組織が複数のテナントを持っている。テナント ID を別のテナントの Web パーツから取得した、または入力ミスのある状態でコピーした。

**対処。** 誤った割り当ての横にある **Remove** (削除) をクリックし、正しいテナント ID にライセンスを割り当てます。ライセンスはいつでもテナント間で移動できます。1 つのライセンスは、同時に 1 つのテナントでのみ有効です。両方のテナントで製品が必要な場合は、サブスクリプションに 2 つ目のライセンスを追加してください (**Add/Remove licenses** (ライセンスの追加/削除))。KB10037. Vitextra サブスクリプションを管理する方法を参照してください。

> ヒント
>
> テナント ID を手入力しないでください。**バージョン情報**グループから GUID をコピーするか、無料の Tenant ID Lookup ツールに **SharePoint** サイトの任意のリンクを貼り付けて調べてください。KB10034. Vitextra のライセンス用に Microsoft 365 テナント ID を確認する方法を参照してください。

## 原因 4. ライセンスが別の製品のものである

**確認。** アカウントのサブスクリプションが、メッセージを表示している Web パー

ツとは別の製品のものです。たとえば、ライセンスされているのは Employee Directory なのに、ページ上の Web パーツは Employee Details または Organizational Chart である場合です。

各 Vitextra 製品には、それぞれ独自のライセンスがあります。名前が似ている製品や同じ製品ファミリーの製品も、それらを明示的に含むスイートを購入していない限り、個別にライセンスされます。

**対処。** **バージョン情報**グループの上部にある製品名 (製品ページへのリンクになっています) を確認し、その製品のライセンスを購入するか、Web パーツをライセンス済みのものに置き換えてください。

## 原因 5. サブスクリプションがキャンセルされた、または更新できなかった

**確認。** サブスクリプションがキャンセル済みまたは非アクティブと表示されている、あるいは Web パーツの**状態**が*保留中*です。

キャンセルすると自動更新が無効になりますが、支払い済み期間の終了までは引き続き利用できます。キャンセルをメッセージの原因と判断する前に、その期間の終了日を確認してください。更新の支払いが失敗した場合は、支払い方法を更新し、支払いが完了したことを確認してください。

**対処。** 支払い済み期間が終了した場合は、サブスクリプションを購入し、そのライセンスをテナントに割り当てます。支払いの問題の場合は、アカウントで支払い情報を更新してください。状態が*アクティブ*に戻らない場合は、テナント ID を添えて Vitextra サポートにお問い合わせください。サブスクリプションが終了したときに正確に何が起こるかは、KB10364. Vitextra の試用期間またはサブスクリプションが終了するとどうなるかで説明しています。

## 原因 6. ライセンスを割り当てたばかりである

**確認。** アカウントの内容はすべて正しく、割り当てを行ったのが数分以内です。

**対処。** 5 ～ 10 分待ってから、ページを再読み込みします。メッセージが消えない場合は、ブラウザーのキャッシュをバイパスしてページを再読み込みするか (**Ctrl+F5**)、プライベート ウィンドウで開いてください。ブラウザーがライセンス

確認の以前の応答を保持している可能性があります。

## 原因 7. バージョン情報グループが空だが、Web パーツは動作している

**確認。** Web パーツはコンテンツを正常に表示していますが、**バージョン情報**グループには製品名も、**バージョン**、**状態**、**テナント**の値も表示されません。

これだけでライセンスの有効期限が切れたとは判断できません。ライセンス情報のブロックは、環境情報とライセンス情報の両方が取得されるまで表示されません。プロキシ、ファイアウォール、ブラウザー拡張機能による `vitextra.com` のブロックなどで、ライセンス サービスへの要求が失敗した可能性があります。Web パーツはこれらの情報がなくても動作を続けられますが、ライセンス情報と更新通知は利用できません。

**対処。** ユーザーのネットワークから `vitextra.com`、`static.vitextra.com`、`vitextra-storage.azureedge.net` への送信 HTTPS 接続を許可してください。最初のホストはライセンスの確認を、残りの 2 つは Web パーツのスクリプトとアイコンを提供します。

## 原因 8. 一部のユーザーまたはページでのみメッセージが表示される

**確認。** 同じテナント内で、同じ Web パーツがあるユーザーでは動作し、別のユーザーではメッセージを表示する、あるいはあるページでは動作し、別のページでは動作しない。

利用権はテナントと製品に共通ですが、表示結果は異なる場合があります。両方のページで製品、Tenant ID、インストール済みバージョンを比較してください。有効化前に開いたページには以前の状態が残ることがあります。ライセンス要求の失敗や展開済みバージョンの違いも原因になり得ます。

**対処。** ユーザーに **Ctrl+F5** でページを再読み込みするよう依頼してください。Microsoft Teams では、タブを閉じて開き直すか、Teams クライアントを再起動します。

## それでも解決しない場合

Vitextra サポートに、製品名、**バージョン情報**グループの**バージョン**と**テナント**の値、Vitextra アカウントの電子メール アドレス、メッセージのスクリーンショットを添えてご連絡ください。テナント ID があれば、サポート チームはライセンス サービスがお客様のテナントに返している状態を確認できます。

# 用語

**Microsoft 365**

Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

**Microsoft Teams**

Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

**SharePoint**

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

テナント

Microsoft 365 テナントは、Microsoft 365 サービスの専用インスタンスです。テナントには、ユーザーやドメイン (Microsoft Entra ID)、構成、サブスクリプション、サービスなど、組織の情報が保持されます。組織は、Microsoft 365 サービスにサインアップすることでテナントを受け取ります。